

# 三島中学校 学校通信1月号

令和7年1月8日（水）

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願いたします。保護者の皆様、地域の皆様、昨年は、様々な教育活動におきまして、ご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげをもちまして、生徒たちは多くの体験活動や学習経験を積み重ね、心身ともに健やかに成長することができました。

さて、今年のお正月は、昨年とは違い、とても穏やかな正月となりました。生徒のみなさんは、新年の抱負をどのように立てたでしょうか？私自身は、「健康第一」としました。自分の健康そして家族の健康をしっかりと考えていこうと思います。学校生活を振り返ってみると、学校の中心となる生徒会本部役員の改選があり、11月28日（木）に新旧役員の引継ぎ式が行われました。いよいよ2年生を中心とした新体制での本格的なスタートとなります。尾形生徒会長を中心に生徒の皆さん一人一人がさらに輝きを増していけるようチャレンジを重ねてくれることを期待しています。

昨年は、元旦から能登で大きな震災があり、不安な年明けでしたが、今年は年明けから晴天が続き、穏やかなお正月を過ごすことができました。一年を通して、穏やかに過ごしたいと願うばかりです。さて、徳島新聞1月4日から「阪神大震災30年 あの日の記憶から」と題した記事が掲載されています。この記事を読んで、私もあの頃のことを思い出しました。社会人として働き出した2年目で、小学校に勤務していました。朝、早くに「ドン」という大きな音とともに目が覚め、家が大きく揺れたことを思い出します。しばらくしてテレビをつけると神戸市が大変なことになっていることがわかりました。初めての経験で、何が起きているのかわからないまま、学校へ向かいました。徳島県は大きな被害こそありませんでしたが、阪神地方、特に神戸方面は大きな被害がありました。少しでも減災に繋がればと九死に一生を得た人、救助で無力感を痛感した人、様々な人が経験したことを将来へ伝えていく、対策を講じていく活動をしていることが見受けられます。私たちは、そのような方の声に耳を傾け、「知る」ことが第一歩であると思います。淡路島の北淡震災記念公園には、当時の断層のずれを保存した「野島断層保存館」があります。何度か校外学習で訪れましたが、何度見ても地震の凄まじさと脅威を感じる事ができ、地震に備える大切さを改めて実感します。また、実際に被災した語り部の方のお話を聞くことで、より一層被害の大きさがわかります。南海トラフの大地震はいつ起こるかわかりません。私たちは先人の知恵を基に「かけがえのない命」を守るため、備えていかなければならないと常に考えていかなければなりません。「備えあれば憂いなし」。いざというときに慌てぬよう、しっかり備えておきたいものです。

最後に、生徒の皆さん、今年は何年ですね。どのような一年にしたいですか？一人一人それぞれに今年の成長を願い、目標を掲げたことと思います。様々な困難はあるかと思いますが、その達成に向けて努力を積み重ね、大きな成長が実感できる一年になることを期待しています。

三島中学校長 松永貴史

## 1月行事予定

- 1日（水）～3日（金）元日、年始休
- 8日（水）冬休み明け集会、避難訓練
- 9日（木）第3回基礎学力テスト（3年）、課題テスト（1・2年）
- 10日（金）身体計測
- 13日（月）成人の日
- 15日（水）スクールカウンセラー来校
- 16日（木）校外学習（1・2年）
- 22日（水）美馬地区新人駅伝競走大会、スクールカウンセラー来校
- 27日（月）実力テスト（3年）、集金引き落とし日
- 29日（水）スクールカウンセラー来校
- 31日（金）学校給食費の引き落とし日

